

Comfortable lifestyle
created with UENO

UENOJYUKEN

フロア施工マニュアル メンテナンス方法

正規輸入代理店

UENO JYUKEN
上野住宅建材株式会社

〒954-0111
新潟県見附市今町 6-28-31
TEL. 0258-66-2520
FAX. 0258-66-2501

E-MAIL office@uenojyuken.co.jp
URL <http://www.uenojyuken.co.jp>

この度は、弊社の製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用に際しての注意事項と施工方法をまとめました。

設計・工務店様をはじめ、お施主様にもご一読いただき、長く・快適にご使用いただけますと幸いです。

1. ご使用に際して

●施工前の注意点

- ・床材が雨水に濡れないよう保管してください。
- ・歪みを防ぐ為、平らなところに均一に重ねて保管してください。
- ・基盤が水平であるか確認してください。
水平でない場合、床材の浮きや床鳴りの原因となりますので、必ず確認してから施工してください。
- ・多湿な場所での使用は、床下の防湿処理を十分に行ってください。
- ・無垢材は、1枚1枚色や木目が異なります。必要に応じて、施工前に仮並べを行ってください。

万が一、明らかに目に見える商品の不具合を発見された場合は…

表面の割れ（節の小さな亀裂や欠けを除きます。）やサネの加工不良等や極端な反り、あるいは不具合を発見した場合は、必ず施工前にご連絡下さい。代替え出荷などの対応をさせていただきます。

この場合、不具合品との交換となりますので、お手数でも不具合品の保管をお願いします。

●無垢材についての注意点

■調湿機能について

- ・無垢材は湿度の高い時は水分を吸収し、湿度の少ない時には水分をはきだす調湿機能をもっており、気候や室内環境により伸び縮みを繰り返しています。それにより、隙間、反り、ねじれ、割れといった現象が起こる事があります。
弊社取扱いの無垢材は、製造の段階で人工乾燥をかけておりますが、無垢材の伸び縮みを完全に防ぐ事は出来ませんので予めご了承ください。無垢材は多少の伸縮を伴います。ご使用の際にはご理解をお願いします。

■木目、節について

- ・無垢材は、1枚1枚表情が異なります。それにより、サンプル材と木目、節の大きさや数に違いがでる事がございます。
弊社では、自然素材ならではの表情の違いを理由としたクレームや商品交換には対応しておりませんので予めご了承ください。

■虫について

- ・無垢材を食糧とするキクイムシという虫がいます。まれに床材の表面に虫孔が見られる場合がございます。
施工前に発見した場合は、弊社までご連絡ください。
施工後、引き渡し後に発見した場合には、専門業者へご相談ください。

■日焼けについて

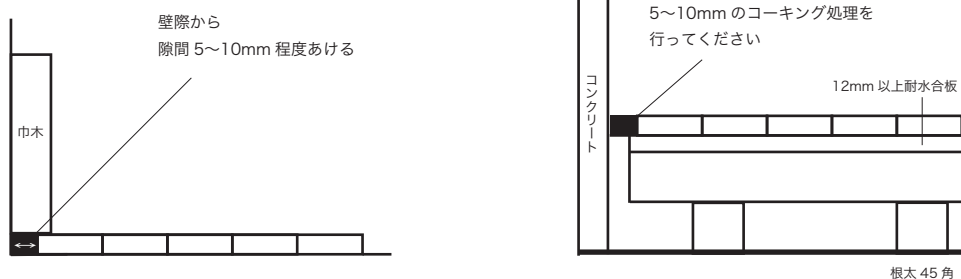
- ・日焼けにより変色しますので、工事中は壁際までしっかりと養生し、工事が完成するまで剥がさないでください。
養生テープは粘着力の弱いものをご使用ください。

2. 施工方法

●無垢フロー施工方法

敷き始めは壁際から 5 ～ 10 mm 程度隙間をあけてください。（地下室や湿気の多い場所・地域では更に隙間を取って下さい。）
敷き終わっても壁際から同間隔の隙間を取ってください。隙間は、巾木で隠してください。

壁がコンクリート打ちっぱなしの場合や巾木の厚みが薄い場合、巾木が既に設置してある場合も壁際は同上の間隔をあけ、コーキング処理をしてください。フローリング材の巾方向に 10m 以上広範囲に施工する場合は適切なエクspansion（隙間）を設けてください。また、はき出し窓への納め、敷居納めの場合も隙間を取りコーキング処理をしてください。



フローリング・フローステップル、接着剤を併用して施工してください。釘の長さは板厚の約 3 倍のものを使用し、雄実の付け根から斜め約 45 度で打ち込んでください。これは床鳴りの防止にもなります。

釘止め標準ピッチは 300 mm で、接着剤は 1 液性ウレタン系の接着剤を使用し塗付を均一にお願いします。

木工用ボンド（酢酸ビニルエマルジョン系）の使用は絶対に避けてください。材の反りや床鳴りの原因となります。

接着剤を塗布する際は、接着剤が実（さね）部に入り込まないように注意してください。

接着剤が床表面についた場合はすぐに拭き取ってください。フィニッシュネイルの使用は絶対に避けてください。

●床暖房施工上の注意点と施工方法

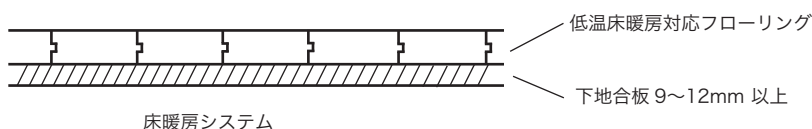
- ・低温床暖房対応商品（三層フロア、積層フロア）ご使用時は必ず厚さ 9mm ～ 12mm 以上の捨て貼りをし、釘、ボンド併用で施工してください。
- ・ボンドは 1 液性ウレタン樹脂系のものをオススメします。木工用ボンドなどの水性エマルジョン系接着剤は耐熱性がないのでご使用は絶対に避けてください。床鳴り、膨張の原因となります。

推奨品：コニシ株式会社 KU928C-X

アイカ工業株式会社 JW-410V

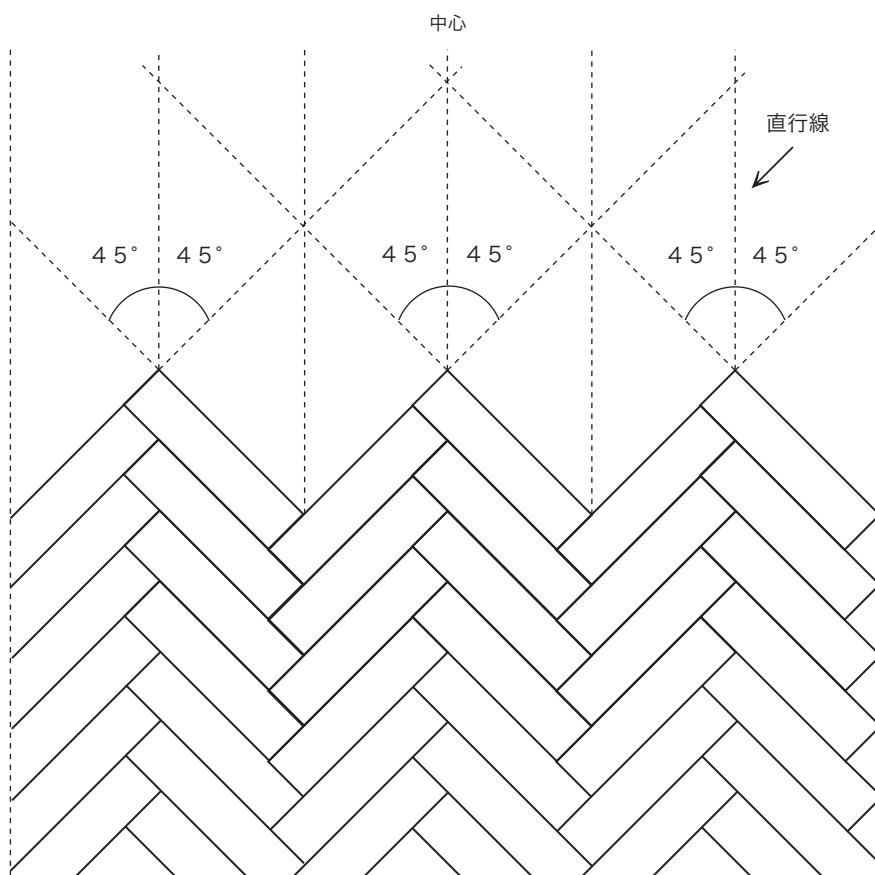
- ・コンクリート・モルタル型床暖房は床材を貼る前に試運転し、コンクリートを乾燥させてください。乾燥が不十分な場合、反りの原因となります。
- ・弊社にて取扱いの建材のうち、低温床暖房対応商品以外は床暖房には使用できません。
推奨商品であっても天然無垢材ですので、床暖使用時に数ミリ程度の隙間が出るがありますがご了承ください。
- ・床暖運転時には必ず「ならし運転」を行い、木材に急激に負荷をかけないようにご考慮ください。

○床構成例



●ヘリンボーンフローリングの施工上の注意と施工方法

- ・ヘリンボーンフローリングには、左右がございますのでご注意ください。
- ・釘と接着剤の併用で施工してください。
- ・墨出しの際は、45°線と直行線の両方を下地につけて施工してください。施工しやすくなります。
- ・壁間の中心から墨出しをし、左右の壁面との収まりが均等になるように割り付けをしてください。
- ・床の形状や面積にもよりますが、壁際等で斜めに切断するため、通常のフローリング材よりもロス率を多くみておいてください。



●養生について

- ・日焼けにより変色しますので、工事中は壁際までしっかりと養生してください。
また、養生は工事が完成するまで剥がさないでください。
その際、養生テープはフローリングに直接貼らないでください。塗装のはがれや変色の原因となります。

3. 施工後 ご使用に際して

●床暖房使用時の注意点

- ・ 弊社取扱いの低温床暖房対応品を使用してください。
- ・ フロア表面温度が 28℃を超えないように使用してください。
28℃を超えて使用されますと、過乾燥により割れや反りが生じることがあります。
- ・ 木は吸湿性があるため、室内の湿度に大きく左右されます。乾燥しすぎると、割れや反り等が生じることがあります。
床暖房を使用される際は、特に乾燥しますので、加湿器などを用いて湿度を調整してください。
室内の環境を整えることは、フロアだけでなく人間の健康上も大切なことです。室内湿度 40 ～ 60%、室温 20℃前後が
木にも人間にも最も適した環境であるとされています。
- ・ 床暖房使用時はフロアの上にカーペットやじゅうたんを敷いたり、下面に隙間のない家具を直に置かないで下さい。
これらは放熱を妨げ、部分的に温度の上昇が起こり、割れ、反り、ささくれ等の原因となることがあります。

●定期的なメンテナンスを行う

弊社取扱いフロアの多くは、天然成分のオイルとワックスで仕上げられています。その為、経年変化が起こり、キズや汚れがつきます。また、調湿機能を妨げないので乾燥します。特に床暖房使用時は乾燥しやすくなります。
フロアを末永くお使いいただく為に定期的なメンテナンスをお願いします。

注) 化学モップは黒ずみの原因となりますので、ご使用にならないでください。

注) キャスター付の家具等は床にダメージを与え、ささくれや割れ、剥離の原因となります。

下にマット等を敷くなどして、キャスターが床に直接触れないようにご注意ください。

但し、マット類と床暖房の併用はできません。

フロア表面に水やジュースをこぼしてしまったら、すぐに拭き取っていただければシミにはなりません。

ただし、時間が経ちますとシミになり、残ることがあります。シミになってしまった場合は、ケア用品を使って拭き取ってください。

●施工後の日焼け、色あせ

陽があたると一般に薄い色の木はやけて濃くなり、濃い色の木は色あせて薄くなります。

無垢のフロアは経年変化による変色が施工後～1 年位の間に急激に起こる為、カーペット・ラグを敷くとその部分だけ跡が残ります。

一旦変化したものを元通りにする有効な手段はありませんので、カーペット、ラグ等を敷く場合はご注意ください。

また、家具等を置いた場合にも同様のことが起こります。

フロアメンテナンス方法 アドモント三層フロア

●日常の掃除・お手入れ

日常の掃除は、ペーパーモップやよく絞った雑巾、掃除機でゴミや埃を取り除いてください。
 ただし、油分を含んだ化学ぞうきんや化学モップは使用しないでください。

●フロア全体の掃除（メンテナンス目安 2～3ヶ月に一度）

使用メンテナンス用品：アドモントフロア専用の「クリーン&ケア」をご利用ください。

1. 使用する際、ぬるま湯で約50倍に希釈し、きれいな布やモップ等を浸し固く絞り、フロアの木目に沿って拭き掃除をします。 ※汚れの度合いに応じて濃度を調整してください。
 （クリーン&ケアは、有害物質を含まない天然ワックスと石鹸成分の成分でできているため、塗布することにより、表面の汚れ落としと同時にワックスがけの効果が得られます。）
2. 約30分間乾燥させた後、タオルなど柔らかい布で艶が出るまで磨きます。

●床が乾燥気味るとき（メンテナンス目安 半年に一度）

使用メンテナンス用品：アドモントフロア専用の「メンテナンスオイル」をご利用ください。

1. 掃除機等でフロア表面の埃等をきれいに取り除きます。
2. メンテナンスオイルを薄めず原液のまま、乾いた布などを用いて薄く塗り伸ばします。
 （スプレー式容器に移し変えてご使用いただくと均一に塗ることができます。）
 この際、オイルの塗りすぎはベタつきの原因となりますので、十分に注意してください。
 （目安は、1㎡に対し10～15cc程度。1本で約100㎡塗布できます。）
3. すぐにしっかりと拭き取ります。
 この作業は、フロア表面の磨耗を防ぎ、光沢を出す効果がありますので必ず行ってください。
4. 約24時間放置して完全に乾燥、硬化させますが、この間水気には十分にご注意ください。（乾燥時間はあくまで目安です。）
 注）オイルの付着した布などはそのまま放置されますと自然発火する恐れがありますので、使用後は必ず水で湿らせてから処分して下さい。
 注）拭き取りが不十分だとベタつきが残りますので、しっかりと行ってください。

Admont Floor Series Maintenance kit

アドモントフロア・メンテナンス用品



クリーン&ケア クリア 1L
 ホワイト 1L

有害物質を含まない天然ワックスと石鹸成分から作られたお手入れ用クリーナーです。1本で床の汚れ落としとワックスがけが同時にできます。クリーン&ケアでのお手入れは2～3か月ごとに行ってください。バケツ半分の水に適量を混ぜてお使い下さい。



メンテナンスオイル クリア 1L
 ホワイト 1L

蜜蝋や亜麻仁油から作られた保護用オイルです。床表面の乾燥を防ぎ、ひび割れやササクレを起こりにくくします。お手入れの頻度は半年から1年ごとに。特に秋口や春先のご使用が効果的です。原液を少量ずつ塗り込んで下さい。

YAHOO! JAPAN ショッピング

メンテナンス用品は
 Yahoo! ショッピングでご購入いただけます。



フロアメンテナンス方法 シリアン・パインフロア



シリアン・パインフロアには“Siljan Hard Wax Oil”が表面に塗布されています。他社製品が20g / m²の塗布量に対し70g / m²以上の塗料を使用していること、および高耐久の塗料の開発により、ソープがけ等の面倒なメンテナンスはほとんど必要ありません。一般のご家庭による使用では、これまで半年～1年に1回程度行って頂く必要のあった床全体のソープがけも必要ありません。

汚れがひどい場合は、水に浸し固く絞ったモップ、雑巾等をご使用ください。

ショップ等、土足の場所では、オスモカラー「ウォッシュアンドケア」を必要に応じて適宜ご使用下さい。

日常の掃除は、ペーパーモップや掃除機でゴミや埃を取り除いてください。

ただし、油分を含んだ化学ぞうきんや化学モップは使用しないでください。

※“Siljan Hard Wax Oil”を使用している商品に限ります。未塗装品、現場塗装品には該当いたしませんので、メンテナンス方法は各塗料メーカーにご確認ください。

Floor Series Maintenance

シリアンパインフロア・メンテナンス用品

ジュース、牛乳、コーラ、ビール、ワインやコーヒーといった液体の汚れやシミを効果的にキレイに落とせます。水に薄めたものを固く絞った雑巾で拭くだけです。



ウォッシュアンドケア

フロアメンテナンス方法 オスモカラーフロアクリアー使用の各種無垢床材・積層床材

オスモカラーフロアクリアーは自然の木の良さはそのままに、撥水性、防汚性を付与、特に表面の耐久性を向上させます。

●日常の掃除・お手入れ

日常の掃除は、ペーパーモップやよく絞った雑巾、掃除機でゴミや埃を取り除いてください。

ただし、油分を含んだ化学ぞうきんや化学モップは使用しないでください。

●フロア全体の掃除（メンテナンス目安 半年に一度）

使用メンテナンス用品：オスモカラー「ウォッシュアンドケア」をご使用ください。

1. バケツと水、雑巾を用意し、水 1L に対してキャップ 1 杯分を希釈して均一になるようかき混ぜて下さい。

2. 浸し固く絞った雑巾でフロア材の木目に沿って拭いて下さい。

※木の汚れを落とし、油分を補充するので、お掃除とメンテナンスが一度にできます。

※「オスモカラーフロアクリアー」を使用しているこちらの商品に限ります。未塗装品、現場塗装品には該当いたしませんので、メンテナンス方法は各塗料メーカーにご確認ください。

Floor Series Maintenance

無垢フロア・メンテナンス用品

ジュース、牛乳、コーラ、ビール、ワインやコーヒーといった液体の汚れやシミを効果的にキレイに落とせます。水に薄めたものを固く絞った雑巾で拭くだけです。



ウォッシュアンドケア